

「能登地域におけるICTインフラの活用に関する調査検討会」
報告書概要

開催の背景

< 能登地域の地理的・経済的な特徴・状況 等 >

- ①日本海に突き出した能登半島の中に位置
- ②能登地域以外の外部の情報が入りにくい
- ③少ない情報発信
- ④漁業、観光業が主たる産業
- ⑤零細企業が大半
- ⑥過疎化、少子高齢化が進行

< 能登地域のICTインフラの現状 >

- ①ここ数年、急速にICTインフラの整備が進展
 - ・平成21年4月には、能登地域全域で整備が完了
- ②ケーブルテレビ網が中心（光ファイバーは、一部の地域のみで利用可能）
 - ・地方自治体単位で整備・小規模で独立して運用
 - ・最近整備されたばかりの地域が多く、運用に当たって、十分なノウハウが蓄積されていない事業体が多い。

ICTの利活用による地域力・暮らし力の向上

能登地域におけるICTインフラ整備のタイミングを捉えて、調査検討会を開催

< 検討の観点 >

- 1 ケーブルテレビのサービスの充実
- 2 ブロードバンド・ICTの利活用促進

ケーブルテレビのサービス状況【平成20年10月1日現在】

自主放送を行う引進端子数501以上の許可施設。ただし、大野市（和泉村）を含む。

北陸管内の整備状況（市町村数）

	富山県	石川県	福井県	合計
整備済	15 (100%)	18 (95%)	16 (94%)	49
整備中	0 (0%)	1 (5%)	0 (0%)	1
未整備	0 (0%)	0 (0%)	1 (6%)	1
計	15	19	17	51

※（ ）内の数値は、各県における全市町村数に占める割合を示す。

（赤字は未広帯域化）

- ①能登町(旧柳田村)
- ②加賀テレビ(株)
- ③株テレビ小松
- ④加賀ケーブルテレビ(株)
- ⑤金沢ケーブルテレビネット(株)
- ⑥株あさがおテレビ
- ⑦能登町(旧能都町、旧内浦町)
- ⑧七尾市(旧能登島町、旧中島町)
- ⑨能越ケーブルネット(株)
- ⑩津幡町
- ⑪宝達志水町
- ⑫中能登町
- ⑬輪島市
- ⑭かほく市
- ⑮志賀町

（赤字は未広帯域化）

- ①おおい町
- ②高浜町
- ③福井ケーブルテレビ(株)
- ④株嶺南ケーブルネットワーク
- ⑤若狭町(旧上中町)
- ⑥株ケーブルテレビ若狭小浜
- ⑦株大野ケーブルテレビ
- ⑧南越前町
- ⑨丹南ケーブルテレビ(株)
- ⑩美方ケーブルネットワーク(株)
- ⑪さかいケーブルテレビ(株)
- ⑫大野市(旧和泉村)※届出施設
- ⑬こしの国広域事務組合(永平寺町、旧美山町)

平成20年7月
サービス開始

平成20年10月
サービス開始

平成19年4月
サービス開始

平成19年4月
サービス開始

【整備中】
平成21年4月
全域でサービス開始予定

【未整備地域整備中】
平成21年4月
全域でサービス開始予定

平成21年度
サービスエリア拡大を計画中

平成21年度
ケーブルテレビの整備を計画中

平成21年4月：
98.7%（見込み）

	地上デジタル放送 視聴世帯カバー率
富山県	100.0%
石川県	90.6%
福井県	94.0%

*平成20年4月1日現在

- ①高岡ケーブルネットワーク(株)
- ②とどろき衛星通信テレビ(株)
- ③能越ケーブルネット(株)
- ④射水ケーブルネットワーク(株)
- ⑤株ケーブルテレビ富山
- ⑥上婦負ケーブルテレビ(株)
- ⑦株新川インフォメーションセンター
- ⑧砺波広域圏事務組合
- ⑨水見市
- ⑩射水市(旧小杉町、大門町、下村)
- ⑪魚津市
- ⑫小矢部市
- ⑬新川広域圏事務組合
- ⑭滑川中新川地区広域情報事務組合
- ⑮富山市(旧山田村)

能登地域におけるICTインフラの活用に関する調査検討会(構成員)

畔上 修一	西日本電信電話株式会社 金沢支店法人営業部長	20年7月から
石丸 健	社団法人石川県情報システム工業 会事務局長	
大西 祥浩	石川県企画振興部情報政策課長	20年7月から
亀井 公顯	西日本電信電話株式会社 金沢支店副支店長	20年6月まで
金平 勲	財団法人石川県産業創出支援機構 経営支援部アドバイザー	
澤 信俊	金沢星稜大学経済学部教授	座長
早田 豪	石川県商工労働部産業政策課長	
巽 一郎	珠洲市総務課長	
寺尾 隆之	志賀町情報推進課参事	
中西 悦子	石川県企画振興部情報政策課長	20年6月まで
中村 宗幹	七尾市企画政策部情報政策課長	

中山由紀夫	輪島市総務部企画課長	
奈良周治	株式会社石川コンピュータ・センタ ー取締役	
坂東 裕	能登町広報情報推進課長	
日名田正之	能越ケーブルネット株式会社 代表取締役社長	
廣瀬 康雄	中能登町情報推進課長	
松島 英章	北陸通信ネットワーク株式会社 取締役営業部長	
村本道廣	石川県映像事業協同組合専務理事	
和布浦将司	金沢ケーブルテレビネット株式会社 専務取締役放送本部長	
安原俊克	能登の旅情報センター所長代理	
吉間 篤	穴水町企画情報課長	

敬称略、五十音順

調査検討会の開催状況

第1回	20年4月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 検討会の設置 (2) ワーキンググループの設置 (3) 地域住民の視点からのICTインフラの有効活用調査の実施 (4) プレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> －能登半島の現状(日本工営 小石氏) －富山県のケーブルインフラの活用状況(富山県ケーブルテレビ協議会代表幹事 金岡潤一氏) (5) 構成員への調査依頼(ICTインフラの活用状況。どのようなアプリケーションに興味があるか等。)
セミナー	20年6月13日(金)	「能登半島ICT利活用セミナー」(和倉温泉観光会館(石川県七尾市))
第2回	〃	<ul style="list-style-type: none"> (1) ワーキンググループの取組み状況について(中間報告) (2) ICTインフラ・サービスの整備状況について (3) ICTインフラ活用に関する意向調査について (4) 今後、調査検討会で取り上げる分野・テーマについて (5) ICT利活用セミナー～ブロードバンドを用いた遠隔夕食会～(仮称)の開催について
講演会	20年10月31日(金)	地域情報化推進講演会(金沢広坂合同庁舎1階 大会議室) 「地域力を創るCATVの役割」(講師 株式会社中海テレビ放送 専務取締役 高橋孝之氏)
第3回	〃	<ul style="list-style-type: none"> (1) ワーキンググループの活動報告について (2) 地域住民の視点からのICTインフラの有効活用調査について(中間報告)
実証実験	20年11月12日(水)	「ブロードバンドを用いた遠隔夕食会」(珠洲市大谷町～志賀町高浜町)
第4回	21年2月6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域住民の視点からのICTインフラの有効活用調査について(報告) (2) ブロードバンドを用いたテレビ会議システムによる実証実験(遠隔夕食会)の開催結果について(報告) (3) 能登地域以外との自主番組の相互流通の評価、県議会中継について (4) 最終報告書の構成及び提言について (5) 講演・プレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> －「地域と連携したICT活用」(静岡県立大学経営情報学科准教授 湯瀬裕昭氏) －「ビジュアルコミュニケーション活用の紹介」(西日本電信電話㈱ 七尾営業支店長 仙石氏)
第5回	21年3月24日(火)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 県議会中継について (2) 報告書案について

能登地域におけるICTインフラの活用に関する調査検討会WG(構成員)

上野 実	穴水町企画情報課係長	
江上 良則	輪島市総務部放送課主事	
瀧川 哲也	志賀町情報推進課係長	
仲谷 宗	能登町広報情報推進課主事	
前田 保夫	珠洲市総務課主査	副主査
宮川 明大	七尾市企画政策部情報政策課ケーブルテレビ推進室専門員	主査
宮川 武志	中能登町情報推進課主事	

敬称略、五十音順

調査検討会WGの開催状況

第1回	20年5月23日(金)	(1)ワーキンググループの進め方について (2)地域資源の発掘・発信の可能性調査について (3)各地方自治体のICTインフラ整備及び自主番組制作状況について (4)第2回会合に向けての取組みについて
第2回	20年6月5日(木)	(1)自主番組充実のための意義・課題・方策について (2)自主番組の編集・放映・検証について (3)第3回会合に向けての取組みについて (4)第2回調査検討会(親会)への中間報告について
第3回	20年7月4日(金)	(1)能登地域内で自主番組の相互流通を行う意義・課題について (2)能登半島ヘッドライン(仮称)の制作・放映について (3)能登地域以外と自主番組の相互流通を行う意義・課題について
編成会議	20年7月29日(火)	(1)能登半島ヘッドラインの制作方針について (2)能登半島ヘッドラインの編集方法について
編成会議	20年8月21日(木)	(1)信越における取組状況及び番組交換について (2)県議会中継について
第4回	20年8月29日(金)	(1)能登半島ヘッドラインの制作・放映の評価について (2)能登地域以外との自主番組の相互流通の実施について (3)報告書の作成について
第5回	20年10月6日(月)	(1)能登地域以外との自主番組の相互流通の評価について (2)親会への報告書案について
第6回	20年12月17日(水)	(1)プレゼンテーション「地域情報課推進サービスプラットフォームの形成について」： 株コトブキソリューション (2)報告書の提言及び報告書を受けた来年度以降の具体的なアクションについて (3)地域住民の視点からのICTインフラの有効活用調査について (4)県議会中継の配信について

ケーブルテレビのサービスの充実

自主番組は、ケーブルテレビ特有のサービス。行政情報を含む地域に密着した情報の提供が可能。

限られた人的・予算的リソースの中で、自主番組を充実していくことが必要

< 主な活動 >

1 3市4町共同で、試行的に自主番組(能登半島ヘッドライン)を制作・放映・評価

2 能登地域以外との自主番組交換

①長野県・新潟県のケーブルテレビ事業者(10社)が制作した番組(信越トライワーク)を放映・評価

②逆に上記ケーブル事業者で能登半島ヘッドラインを放映・評価

3 県議会中継(録画)の放映・評価

4 “よそ者”や“若者”といった視点から見た能登地域を映像化したコンテンツの制作・放映・評価

5 外部有識者の講演、意見交換

富山県ケーブルテレビ協議会、(株)ケーブルテレビ富山、(株)中海テレビ放送、(株)テレビ飯山 等

広域情報番組「能登半島ヘッドライン」の制作・放映・評価

- ①能登地区7市町が、それぞれの市・町の情報を持ち寄り、広域情報番組「能登半島ヘッドライン」を共同制作
- ②制作した番組を、各ケーブルテレビで放映、その内容を評価

1 番組の作成

2つのコンテンツを作成

- ①能登半島スペシャル～能登はまつりの玉手箱～
(17分20秒)
- ②能登半島インフォメーション(13分48秒)

2 番組の放映

各ケーブルテレビで、各コンテンツを、それぞれ1週間、計2週間放映 (延べ293回)

3 番組の評価

- ・62名からアンケート票を回収
- ・約9割が「おもしろかった」と回答
- ・9割以上が「有益だと思う」と回答

4 地方自治体の感想

- ・一つの作品を作る喜びを味わうことができ、番組制作への興味が沸いた。
- ・人的な交流の活性化が期待されるため、他市町の情報を発信することは有意義
- ・継続して実施するには、不安がある。等々

能登半島スペシャル～能登はまつりの玉手箱～の構成

映像担当	内容	時間
七尾市	オープニング	1:25
珠洲市	飯田燈籠山祭り／宝立セタキリコまつり	3:35
輪島市	曳山祭／輪島大祭	1:00
穴水町	長谷部まつり	1:48
能登町	あばれ祭	1:33
志賀町	西海祭り	1:41
七尾市	向田の火祭／石崎奉燈祭／お熊甲祭	3:14
中能登町	石動山開山祭	2:35
七尾市	エンディング	0:29
合計		17:20



他地域のケーブル事業者が制作した「信越トライウォーク」の放映・評価 (能登地域以外と自主番組の相互流通を行うことについて)

- ①長野県・新潟県のケーブルテレビ局が共同制作している自主番組「信越トライウォーク」と広域情報番組「能登半島ヘッドライン」の相互流通を実施
- ②交換した番組を、各ケーブルテレビで放映、その内容を評価

1 番組の放映

能登側:「信越トライウォーク」:9月中旬～10月中旬
 信越側:「能登半島ヘッドライン」:11月中旬～11月下旬

2 番組の評価(能登地域ケーブルテレビ視聴者)

- ・59名からアンケート票を回収
- ・9割以上が「おもしろかった」と回答
- ・約8割が「有益だと思う」と回答

3 地方自治体の感想

[能登側]

- ・他地域の番組を放送することで、番組の内容に幅ができる。
- ・番組構成、編集、収録方法が参考になった。
- ・他地域のイベント等の情報は近接地域までが妥当ではないか。

[信越側]

- ・このような交流が富山県や石川県などにも広がることは、制作側はもちろん、お互いの地域の視聴者にも有意義なことと思う。
- ・他県の視聴者向けに、祭りがおこなわれている市町村の位置説明があれば分かり易い。等々

信越トライウォークの構成

区分	内容	時間
全 体	オープニング	1:57
長野県木島平村	でかい秋みつけた/ みゆき野の風景画展作品募集	3:16
新潟県魚沼市	結の灯り/震災メモリアルライブ	3:14
長野県野沢温泉村	夕陽散歩	2:02
新潟県佐渡市	民話の宝庫・佐渡/ 新潟県民話語り佐渡大会	2:59
新潟県上越市	上杉戦国物語展	3:13
長野県飯山市	信越トレイル全線開通記念イベント/ 辰巳芳子さん講演会と昼食会	2:54
長野県中野市	ぶどうまつり/ぶどうの紹介	3:33
新潟県糸魚川市	ぶどうまつり/翡翠まつり	2:49
全 体	エンディング	1:00
合 計		26:57



県議会中継の放映・評価

- ①平成21年2月末に開催された石川県議会定例会の様相を収録
- ②収録した番組を、各ケーブルテレビで録画放映、その内容を評価

1 番組の放映

放映時間: 約66分
放映時期: 3月上旬

2 番組の評価(能登地域ケーブルテレビ視聴者)

- ・78名からアンケート票を回収
- ・8割以上が「有益である」と回答
- ・8割以上が「今後も視聴したい」、「たまには視聴すると思う」と回答

3 地方自治体の感想

- ・県庁と距離のある能登地域には、是非CATVでの中継をすべきであり、そのことがまさしくICTを使った有効な方策であると考えます。
- ・有益だとは思いますが、ただし、町議会も放映しており、定例議会の放映時期が重なるため、どのように放映するか検討が必要だと思っております。
- ・議会への関心を高めるという点で良いコンテンツだと思っております。代表取材になると思うので、その辺りの調整、費用負担等はどうなるのか。等々

■議会名

平成21年第1回石川県議会定例会

■会期

平成21年2月26日～3月19日

■放映内容

知事提出議案説明

(平成21年2月26日収録)



“よそ者”や“若者”といった視点からの映像コンテンツの制作・放映・評価

- ①金沢星稜大学 澤信俊ゼミの学生たちが「よそ者・最近の若者」が知りたい行事等を主眼とし、地域住民との直接の触れあいを記録した映像作品を制作
- ②制作した番組を、各ケーブルテレビで放映、その内容を評価

1 番組の作成

学生が「七尾市能登島」と「珠洲市狼煙町」を訪れ、地域住民との触れあいを記録した7つの映像作品を作成

2 番組の放映

各ケーブルテレビで、1作品を除く映像作品を、約1～2週間放映（延べ168回）

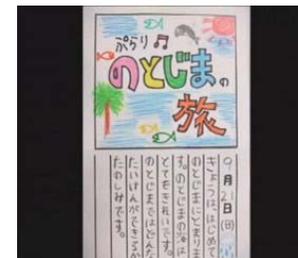
3 番組の評価

- ・57名からアンケート票を回収
- ・約7割が「おもしろかった」と回答
- ・約8割がアマチュア作品を放映することについて、「よいと思う」と回答

4 地方自治体の感想

- ・学生が自主的に制作した番組を放送することは新鮮な感じがして、おもしろいと思った。
- ・番組の一部で使用することについては大変興味のある素材だと思う。
- ・今後はケーブルテレビで番組を見るだけでなく、地域住民も参加できるコーナー等も検討したい。等々

学生による自主制作映像
(7作品)



ケーブルテレビのサービスの高度化(まとめ)

・4つの試行実験を実施

- さまざまな映像コンテンツを、ケーブルテレビで放映、視聴者の反応を評価・分析
- ・満足度・有益性の観点から、一定程度の評価

	実施したこと	実施の視点	満足度	有益性
1	「能登半島ヘッドライン」の制作・放映 ・評価	・能登地域内での番組交換 ・番組の共同制作	89%	94%
2	「信越トライウォーク」の放映・評価	・他地域の映像コンテンツの活用	93%	80%
3	「県議会中継」の放映・評価	・他地域の映像コンテンツの活用	—	81%
4	「よそ者・若者が作成した映像コンテンツ」の放映・評価	・アマチュアが作成した映像コンテンツの活用	65%	77%

— < 実現に向けて > —

- ① 連携に伴う負担をできる限り減らす工夫
- ② 取りまとめ役となる人材の育成
- ③ 情報のやり取りを円滑に行うため、各ケーブルテレビ網を相互接続
- ④ 自主番組充実の必要性について共通認識を共有
- ⑤ 最初から高い水準の番組作りを追い求めず、実施できるところから実施

ブロードバンド・ICTの利活用促進

ここ数年、急速にケーブルテレビ網が整備され、一般家庭においてもブロードバンドを利用できる環境が整備



“何ができるのか”、“何が便利になるのか”といった、ブロードバンドやICTの魅力を伝えることが重要
実際にブロードバンドやICTの魅力に“触れてもらう”、“体験してもらう”ことを主眼とした活動を実施

< 主な活動 >

1 能登半島ICT利活用セミナーの開催

能登半島(会場:和倉温泉観光会館)と国内外の拠点(岩手・長崎・佐賀県及び韓国・金泉市)をネットワークで結んで、各地域の活動状況の紹介等を通じて、ブロードバンドやケーブルテレビといったICTの魅力を紹介

2 遠隔夕食会の開催

地域住民の方々に、ブロードバンドの魅力と有用性を実感してもらう

3 外部有識者の講演、意見交換

岩手県立大学、長岡技術科学大学、静岡県立大学、九州情報通信連携推進協議会(KIAI) 等

能登半島ICT利活用セミナー

ネットワーク回線構成図

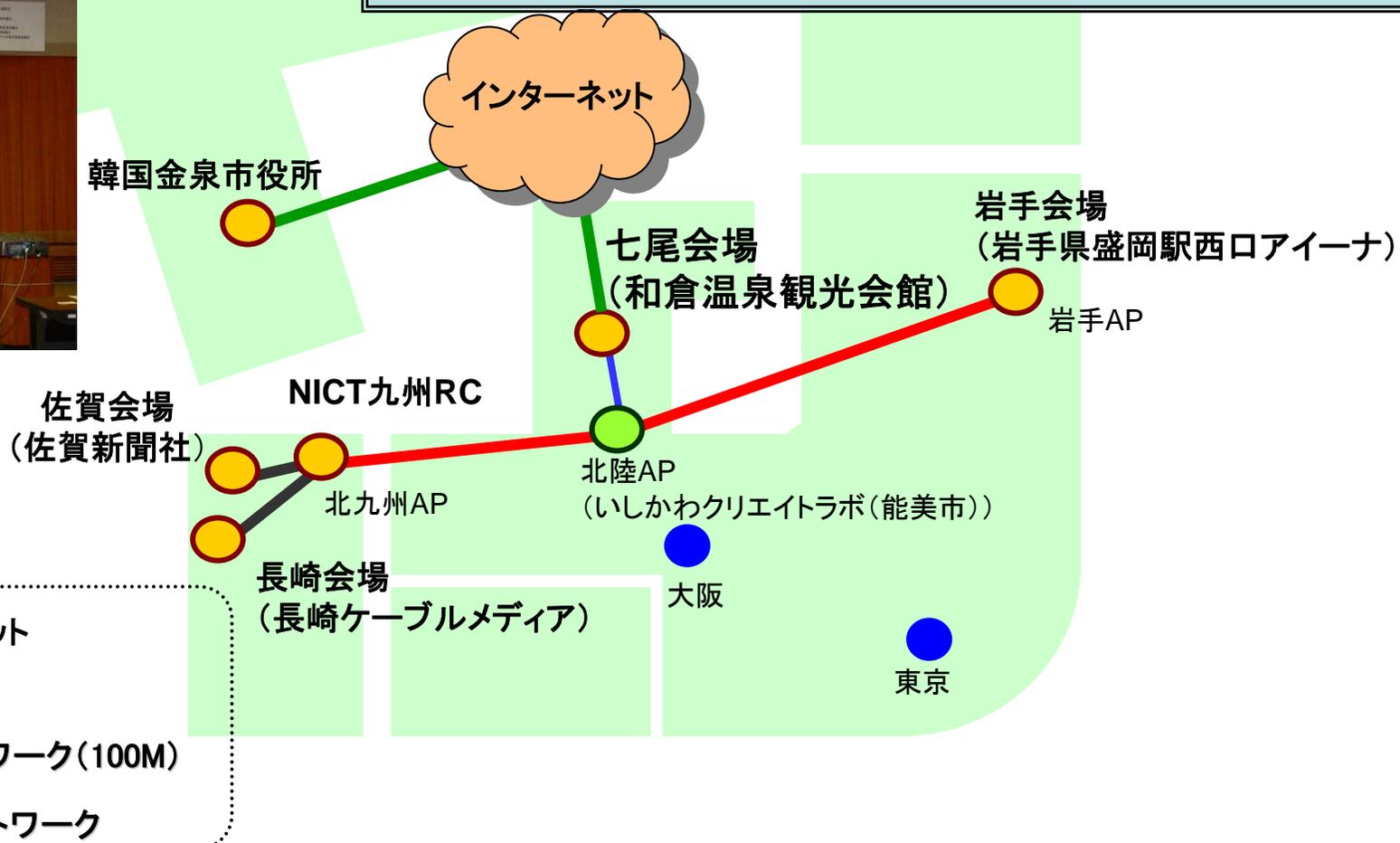
< 概要 >

調査検討会の活動の一環として、能登半島(会場:和倉温泉観光会館)と国内外の拠点(岩手・長崎・佐賀県及び韓国・金泉市)をネットワークで結んで、各地域の活動状況の紹介等を通じて、ブロードバンドやケーブルテレビといったICTの魅力を紹介。

各地域を結ぶに当たっては、独立行政法人情報通信研究機構が運用する研究開発テストベッドネットワークJGN2plusも利用。また、セミナーの様子は、インターネットで配信。

< 開催日時 >

平成20年6月13日(金)13:00~17:00



～ケーブルインフラを用いた地域情報発信～



開会挨拶

総務省	北陸総合通信局	局長	福本 謙二 氏
石川県	七尾市	市長	武元 文平 氏
大韓民国	金泉市	市長	朴 寶生 氏

実証実験1 「東北地域におけるCATV網を利用した コンテンツ配信の活動について」

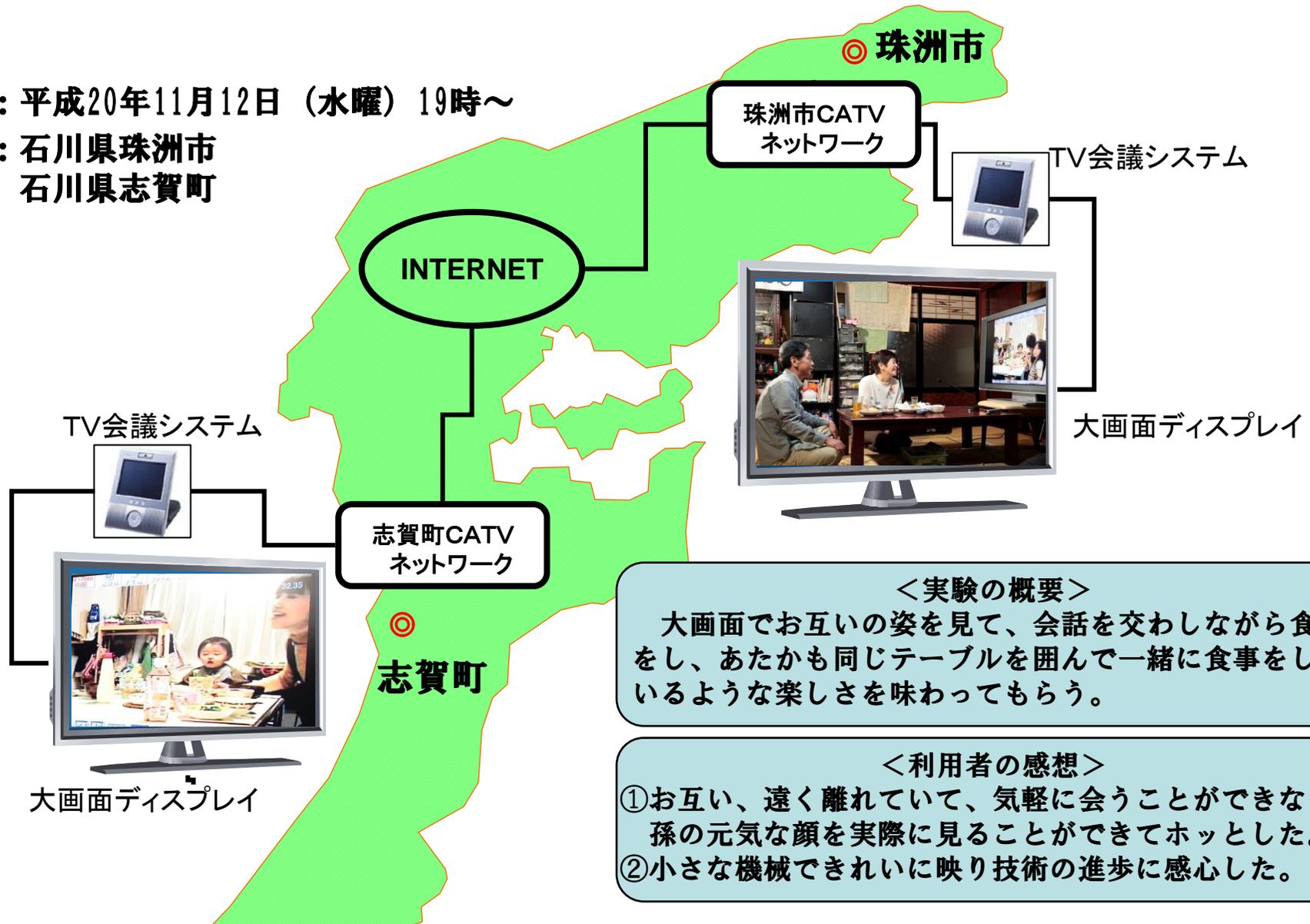


ブロードバンドを利用したテレビ会議システムによる実証実験(遠隔夕食会)

目的 : 地域住民の方々に、ブロードバンドの魅力と有用性を実感してもらう。

開催日時 : 平成20年11月12日 (水曜) 19時~

開催場所 : 石川県珠洲市
石川県志賀町





珠洲市側

志賀町側



■ 遠隔夕食会の様子

ブロードバンド・ICTの利活用促進(まとめ)

ブロードバンド・ICT利活用の魅力や有用性を理解してもらう、といった観点から実証実験・セミナーを実施

	実施したこと	目的・効果
1	「能登半島ICT利活用セミナー」の開催	ブロードバンドネットワークで、セミナー会場と国内外を結んで、他地域の取組み事例の紹介等を通じて、ブロードバンド・ICT利活用の魅力を紹介
2	「遠隔夕食会」の開催	主にビジネスユースであるテレビ会議システムを家庭で利用してもらい、ブロードバンドの魅力を紹介

＜ 評価・今後の課題 ＞

- ・ブロードバンド・ICT利活用の魅力や有用性の理解向上に、一定程度の成果
→ 十分ではなく、今後更なる取組みが必要
- ・能登地域に望ましいICT利活用方策についての検討が不十分
→ 医療・教育などICTを適用する分野の専門知識を持った専門家を加えた検討が必要

提言

1 ケーブルテレビサービスの充実

(1) 自主番組の充実

- ①他のケーブル事業者との番組交換
- ②他のケーブル事業者との自主番組の共同制作
- ③アマチュアが作成した映像コンテンツの活用
- ④県議会中継の実施

(2) 国内外への地域情報発信のツールとしての自主番組の活用

2 ブロードバンド・ICTの利活用の促進

- (1) ブロードバンド・ICT利活用の魅力の周知
- (2) ブロードバンド・ICTインフラの有効活用
- (3) ICTインフラの相互接続

3 その他

- (1) 関係地方自治体の実務担当者による連絡会議の設置
- (2) ケーブルテレビ・ICT利活用に必要な人材の育成